

ことば *公設民営 …国や公共団体が施設を設置し、その施設の運営を民間の企業や団体に代行させたりすること。

水道料金

◀埼玉県HP「埼玉県の水道(平成29年度)」

寄居町の水道料金は日本一高いのか

答弁：県内では9番目、全国平均は下回っています

みねづしかつあさ 峯岸克明 議員



録画映像



世界で水道水が飲めるのは15カ国だけ

問 「寄居町は口径20ミリの水道料金が日本一高い」という報道がありました。実態を伺います。
答 寄居町の一般家庭用は口径13ミリの利用者が97.6%です。13ミリと比較した場合には県内で9番目の高さですが、全国平均額よりは安くなっています。
問 水道事業の今後の見通しについて伺います。
答 公設民営化(*)は考えていません。給水人口の減少により将来的な料金改定は必要ですが、企業立地による給水量の増加、内部留保金の活用などにより当面の料金改定は必要ありません。

肺炎予防

◀厚生省HP「肺炎球菌感染症(高齢者)」

個別勧奨通知の配布は

答弁：65歳到達者に対し、個別通知を配布します

さとうりみ 佐藤理美 議員



録画映像

高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンの定期接種を実施しています。

肺炎球菌とは
肺炎球菌は主に気道の分泌物に含まれる細菌で、唾液などを通じて肺炎感染し、気管支炎や肺炎、敗血症などの重い合併症を引き起こすことがあります。
肺炎はわが国の死因の第3位となっています。また、日常時に生じる成人の肺炎のうち1/4〜1/3は肺炎球菌が原因と考えられています。
平成28年10月1日から
65歳からの肺炎予防

問 日本において、高齢社会に突入した1970年頃から、肺炎による死亡率は増加している現状です。また、肺炎で死亡する人の97%を65歳以上の高齢者が占めていることを踏まえ、国による高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種化が図られました。そこで、定期接種化による効果について伺います。
答 予防接種の必要性が認知されると考えます。
問 接種率向上のため、個別勧奨通知配布の考えを伺います。
答 肺炎予防の取り組みは重要と考えることから、65歳到達者に対し、個別通知を配布します。

保育所建設

◀寄居町公共施設等総合管理計画

公設保育所建設5億円余は妥当か

答弁：国や県の基準に基づき、算出しています

たもがみせつこ 田母神節子 議員



録画映像



5億円あれば城南保育所も残せたはず

問 (城南保育所廃止に伴う) 統合男女保育所が来年4月開所を目指し、建設費5億2000万円(民間保育園建設費2億円以内)で建設予定ですが、町立寄居保育所は2億4000万円。建設費の基準を伺います。
答 民間保育園や寄居保育所の建設当時より労務費や資材等が上昇したことで建設費は高騰。現在、実施設計中で、国県の基準により概算で計上しています。
問 建設費は町民の税金。民間並みに町独自に算出することはできませんか。
答 国県基準に基づいていますが、今後は実施設計の精査や入札により、建設費用の削減に努めていきます。

議員が聞いた！ 今とこれから 一般質問

3月定例会では16名中8名が登壇しました



町のさまざまな課題等について、議員が提言も含めて町に考えを聞く「一般質問」。ここでは全質問項目(下表)と、各議員1項目についてダイジェスト版でお知らせします。QRコードからは、関連情報や議会録画映像(*)もご覧いただけます。

(*) 映像の公開には一定の期間を要することがあります

教育・福祉・医療			町の姿勢・まちづくり		
中学校における部活動のあり方	佐藤		花園消防署寄居分署	神田	
高齢者の肺炎球菌ワクチン定期接種 ▶P.19	佐藤		寄居駅南口周辺整備	神田	
子どもの貧困対策と子ども食堂の支援 ▶P.20	鈴木		水道事業 ▶P.19	峯岸	
老人クラブの充実	鈴木		中心市街地活性化事業	峯岸	
(仮称)寄居町総合記念館の設置 ▶P.20	笠原		汚泥再生処理センター改修事業	峯岸	
教職員の労働状況 ▶P.20	大澤		働き方改革	佐藤	
城南中学校を小中一貫校一貫教育に環境整備移行すること ▶P.21	原口		夢と創造力にあふれ未来を拓く人を育むまち ▶P.19	田母神	
産業・スポーツ			人が集まり活力に満ちた賑わいあふれるまち	田母神	
寄居町駅伝大会 ▶P.18	神田		地区防災計画の導入と自主防災機能の充実	鈴木	
企業誘致推進事業	峯岸		コミュニティエフエムラジオ放送	笠原	
			さいたま出会いサポートセンターへの登録状況	笠原	
			愛のりタクシー	大澤	

キーワードを入力して、過去の本会議での発言を検索・閲覧することができます。寄居町議会ホームページ内 会議録の検索と閲覧をご利用ください。



駅伝大会

◀寄居町駅伝大会結果

協力関係団体との協議は

答弁：選手の安全を第一に協議を重ねました

かんだ たかし 神田 議員



録画映像



「沿道からの声援がパワーになりました！」

問 昨年の運動公園周辺を周回するコースから町内を巡るコースに変更され、沿道もにぎやかになり、参加者からも好評でした。一方、コースにならない地区では無関心であり、合併駅伝当時のような全町を巡るコースにしてほしいという声もあります。今後の運営の方向性を伺います。
答 現在回収中のアンケートを含め、大会役員による反省会において意見を総括した上で、来年度の運営の方向性が協議されます。さまざまな意見を参考に、方向性が話し合われるものと考えています。